

ポスト「京」重点課題4

観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化

台風を解剖して、台風と向き合おう



平成 28 年

12月5日(月)

(12:30 開場 13:00~16:10)

■ 会場

日比谷図書文化館 B1
日比谷コンベンションホール

(東京都千代田区日比谷公園 1 番 4 号)



- ・東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2 出口より徒歩約 3 分
- ・都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7 出口より徒歩約 3 分
- ・東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4 出口より徒歩約 3 分
- ・JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約 10 分

■ 問合せ先 (シンポジウム事務局)

国立研究開発法人海洋研究開発機構
地球情報基盤センター (CEIST)

TEL : 045-778-5753

FAX : 045-778-5491

電子メール : pi4-contact@jamstec.go.jp

URL : <http://www.jamstec.go.jp/pi4/>

■ 主催

国立研究開発法人海洋研究開発機構

ポスト「京」重点課題4 第2回 シンポジウム

観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化 —台風を解剖して、台風と向き合う—

■ プログラム

12:30~13:00	開場・受付開始	
13:00~13:05	開会挨拶	東 垣 海洋研究開発機構
13:05~13:25	課題紹介	高橋 桂子 海洋研究開発機構
13:25~13:50	重点課題4 サブ課題A：革新的な数値天気予報と被害レベル推定に基づく高度な気象防災 「京」～ポスト「京」は台風予測をどう変えるのか？	伊藤 耕介 琉球大学
13:50~14:15	重点課題4 サブ課題B：シームレス気象・気候変動予測 データで振り返る今年の台風：よりよい台風予測に向けて	中野 満寿男 海洋研究開発機構
14:15~14:40	科学実験	Dr. ナダレンジャー 納口 恭明 防災科学技術研究所
14:40~14:55	休憩	
14:55~15:20	重点課題4 サブ課題C：総合的な地球環境の監視と予測 台風と大気汚染：汚染物質が遠くまで運ばれる仕組み	滝川 雅之 海洋研究開発機構
15:20~16:00	パネルディスカッション 納口 恭明 防災科学技術研究所 高橋 桂子 課題責任者 / 海洋研究開発機構 瀬古 弘 サブ課題A 責任者 / 海洋研究開発機構・気象庁気象研究所 佐藤 正樹 サブ課題B 責任者 / 東京大学 滝川 雅之 サブ課題C 責任者 / 海洋研究開発機構	
16:00~16:10	閉会挨拶	高橋 桂子 海洋研究開発機構

*プログラムについては変更となる可能性があります。

問合せ先 (シンポジウム事務局) :

国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター (CEIST)

TEL : 045-778-5753 FAX : 045-778-5491

電子メール : pi4-contact@jamstec.go.jp

URL : <http://www.jamstec.go.jp/pi4/>

主催 : 国立研究開発法人海洋研究開発機構

